

さきやまかいづか
崎山貝塚

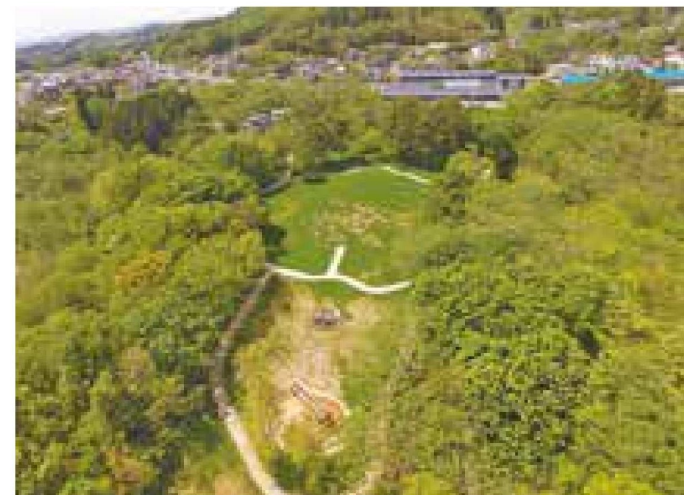
- ◇ 指定日 平成8年7月16日
- ◇ 所在地 崎山
- ◇ 所有者 宮古市ほか

崎山貝塚は、約6,000年～3,500年前の縄文時代のムラやかいづか貝塚、そして縄文を思わせるような周辺の環境もそのまま残されています。

また、貝塚からは縄文人が食べた貝や動物などの骨のほか、全国的にも古い時期の骨や角つので作られた道具（骨角器こっかくき）が数多く発見されています。

発掘調査によって、約4,500年前の縄文時代中期の集落を造るときに、大規模な土木工事を行い、中央広場とこれを取り囲む環状かんじょうの溝みぞを造っていることが分かりました。

現在は、宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアムが併設され、史跡の概要を紹介しているほか、弓矢体験や土器づくりなどの縄文体験も行っています。



遺跡遠景



出土遺物